

資料 1

第1回検討会における指摘事項とその対応

国土交通省 港湾局

平成24年12月3日

各委員指摘事項に対する対応方針(1)

①維持・改良費用の推計については、短期間で概算値を把握する方法と、港湾施設の維持管理のあるべき姿の検討を通して詳細に把握していく方法があるが、どちらを目指すのか明確にすべき。

「社会資本メンテナンス戦略小委員会」において同様の議論をしているため、短期的に概算値を算出する必要がある。将来的には、港湾施設の維持管理のあるべき姿も考慮しながら維持、更新・修繕費の推計の精度を上げていきたい。(第1回検討会の「改良費」を「更新・修繕費」に変更)

②事務局説明の改良費用の推計方法は、現況施設をそのまま機能維持して改良することを前提としたものであるが、機能向上等を含めた改良費用をどのように考慮するかも課題である。

本検討会においては既存施設の更新・修繕費を対象として推計を行っている。機能向上を含めた更新・修繕費の推計については、機能向上分の特定が難しいことから推計困難。

③物理的な寿命のほか社会的な要請によって施設の改良が実施される場合もあるため、今後老朽度だけでなく社会的役割等を踏まえた改良費推計の検討が必要。

港湾施設の社会的役割等については、資料3の中で議論させて頂きたい。

各委員指摘事項に対する対応方針(2)

④港湾施設の現況について、水域・係留・外郭・臨港交通の主要な施設に加え他施設についても推計可能か検証するため、台帳を精査し更なるデータの収集整理が必要。

港湾台帳を集計した結果、主要な施設以外のデータ把握状況(公共施設)は以下のとおりである。また、荷さばき施設における荷役機械、上屋については、更新・修繕費用の推計方法について検討を行っているところである。

施設名	施設数
荷さばき施設	約5,000
旅客施設	約100
保管施設	約5,000
船舶役務用施設	約100
廃棄物処理施設	約100
港湾環境整備施設	約1,700

(注)上記荷さばき施設等のデータについては、施工年度、整備費、面積、劣化度等、複数項目のデータがあるが全ての項目についてデータが網羅的に把握できていない。

各委員指摘事項に対する対応方針(3)

- ⑤同じ鋼構造物でも、厳密には矢板式岸壁と栈橋式岸壁では劣化速度も異なるため、推計の際、施設区分の考え方の整理が必要。
改良工事の費用について、代表的な事例から平均値を算出して使用しているが、ばらつきが大きいため精度向上が必要。
古い時期に整備した施設と比較的新しい施設では、用いている技術基準や施工方法等が異なり、劣化速度も異なる可能性がある。

劣化速度、並びに更新・修繕費用の見直し手法については、資料2の中で議論させて頂きたい。

- ⑥改良費用の推計値に突出したピークが生じており、平準化が必要。劣化予測の方法及び精度も考慮し劣化予測とセットで検討する考え方や、劣化するまでの年数のばらつき分布を考慮して、平準化の年数幅を設定して行う考え方もある。

更新・修繕費用の推計値の平準化手法については、引き続き考え方の整理を行っているところであり、次回議論させて頂きたい。